

# 環境・リサイクル分野

みなとタウンフォーラム  
第3グループ

## 第3グループ[メンバー]

熊野御堂 昌子	後藤 未来	下村 太一
高木 是	谷口 郁子	中 裕樹
半澤 千佳子	茂木 まり子	

※メンバーは五十音順



令和5(2023)年3月23日

# 提言にあたって

## 第3グループ【環境・リサイクル分野】

私たち第3グループでは、メンバーの関心に基づき、①「ごみ減量・資源循環」②「環境保全・美化活動の推進」③「緑や水辺の保全・創出」の3つのテーマについて議論を重ねました。

グループには、環境美化のボランティア活動に参加している人や、ごみ問題や地域の環境美化に高い関心を持った人が集まりました。

マイクロプラスチックが世界的に問題となり、我が国においてもレジ袋が完全有料化するなど、脱プラスチックに向けた取組が進められるとともに、国が改正健康増進法を、東京都が受動喫煙防止条例を施行して、受動喫煙対策を著しく強化するなど、環境・リサイクルの分野を取り巻く状況は、目まぐるしく変化を続けています。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大やデジタル化の進展による社会変化は、地域で排出されるごみの量・種類や環境保全・美化にも影響を与えています。

**テーマ①**「ごみ減量・資源循環」については、区内のごみ分別について正しく理解されていないことや、既存の取組や循環可能な資源等が区民に知られていないことなどが課題としてあげられ、ごみの現状を理解した上で、地域でごみ減量に取り組んでもらえるよう、ごみの減量に関する教育・啓発を推進するほか、既存のリデュース・リユース・リサイクルに関する区の取組を拡充するだけでなく、周知を強化する必要があると考えました。

**テーマ②**「環境保全・美化活動の推進」については、美化活動に参加する人が少ないことや、公共空間の美化に対するモラルが低下

していること、国際性の豊かさに起因するルール浸透の困難さなどの課題に対して、誰もが気軽に環境保全・美化活動に参加できる仕組みや環境保全・美化に関する効果的な周知の実施を具体的な取組として考えました。また、既に自主的に美化活動を行っている人への区の支援の必要性など、ボランティア活動に従事するメンバーがいることもあって、盛んな意見交換が行われました。

**テーマ③**「緑や水辺の保全・創出」については、水辺に対してマイナスなイメージを持っている人がいることや、緑を感じられない地域があるなどの意見があがり、水辺や緑をもっと身近に感じてもらうため、子どもから大人までもが水辺の歴史や環境を学ぶ機会の充実や、視覚的な緑の増加に向けた取組を考えました。

環境・リサイクル分野に関する課題は、一見すると世界レベル、国レベルでの取組が注視されますが、私たち一人ひとりの日々の意識や行動が、課題の解決に向けた大きな意味を持っています。

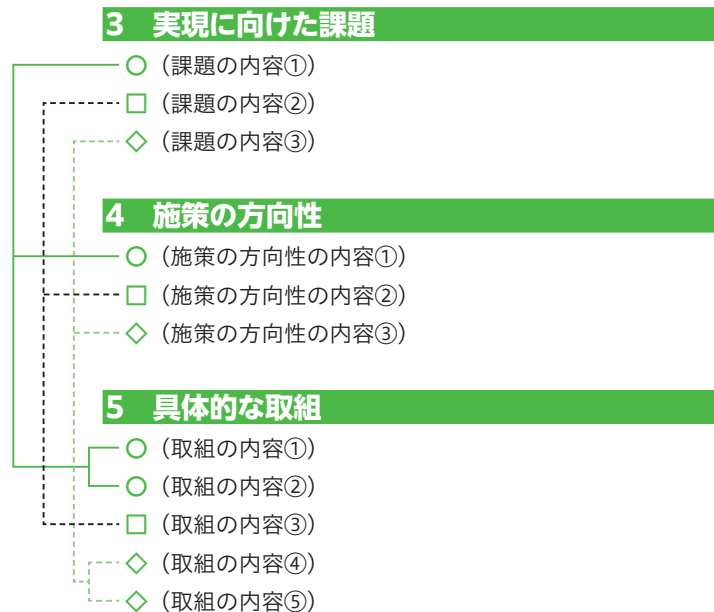
提言にあたっては、国際性の豊かさや事業所・就業者の多さなど、日本を代表する都市のひとつである港区の特長を十分に考慮した上、各メンバーのこれまでの活動や日常生活で日々感じている点を踏まえ、議論を重ねてきました。みなとタウンフォーラムでの提言が港区基本計画に反映されることで、一人ひとりの環境意識が高まり、自主的な行動につながることによって、誰もが心地よい環境に配慮した持続可能なまちになっていることを願っています。

# 提言の体系

具体的な取組	
【テーマ1】 ごみ減量・資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみの減量（リデュース・リユース・リサイクル）に関する人材育成・啓発の推進</li> <li>● 3Rの推進に向けた取組の強化</li> </ul>
【テーマ2】 環境保全・美化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰もが気軽に環境保全・美化活動に参加できる仕組みの構築</li> <li>● 環境保全・美化に関する効果的な周知の実施</li> </ul>
【テーマ3】 緑や水辺の保全・創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水辺に親しみを持ってもらうための取組の充実</li> <li>● まちなかの緑の充実</li> </ul>

## 提言書の見方

提言書における、実現に向けた課題や施策の方向性、具体的な取組など、各項目間でつながりがあるものについては、記号（○、□、◇等）によって関連性を明らかにしています。



第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境・リサイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニティ分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】

# ごみ減量・資源循環

## 1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

「一人ひとりの環境意識が高まり、あらゆるものが循環する持続可能なまち」

## 2 踏まえるべき社会変化

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止や働き方改革に伴うテレワークの推進によって、家庭で過ごす時間が増えており、ライフスタイルが変化している。
- 人口の増加に伴いごみの排出量が増加するとともに、子育て世代の増加など区民の年齢構造が変わることで、ごみの種類にも変化が生じる。
- 新型コロナウイルス感染症が収束していくことで、外国人の居住者や就労者、観光客が増加している。
- 世界的な脱プラスチックの流れに伴い、紙素材等への代替が進むことによって、プラスチックを除くごみが増加する懸念がある。
- 働き方改革、DX化の促進など、電子媒体への移行によるペーパーレス化が加速している。
- 脱炭素社会への動きがさらに加速し、個人や企業における取組の重要性が高まっている。

## 3 実現に向けた課題

- 自治体によってごみの分別方法が異なり人々の認識として定着しづらいため、ごみの正しい出し方を知らない人が多い。
- 拠点回収等の取組や循環可能な資源・製品が周知されていないことで、リユース・リサイクルができるものがごみとして処理されている。

## 4 施策の方向性

- ごみ問題をはじめとした環境問題について、地域の人が学び、地域の人に伝えてくれるよう、人材育成を推進するとともに、既存の仕組みや取組の中で、正しいごみの出し方を学ぶ・伝える機会を拡充する。
- みながりデュース・リユース・リサイクル(3R)に取り組めるよう、既存の取組を拡大・周知を強化するほか、芸術など分野の垣根を越えた啓発活動を推進する。

## 5 具体的な取組

### ○ごみの減量(リデュース・リユース・リサイクル)に関する人材育成・啓発の推進

- ごみに関する正しい知識のもと、地域におけるごみ減量の取組を推進するため、町会・自治会ごとに中心となる人材を育て、地域住民へ啓発するとともに、小中学校においてごみに関する教育を行うなど、人材の育成を進める。
- 環境に係るイベントのみならず、区の施設や様々なイベントを活用して、ごみ分別アプリやチラシによる、積極的な周知・啓発を行うほか、ごみから再生した製品の情報を発信することによって、ごみ減量の意識を高める。

### □3Rの推進に向けた取組の強化

- 家庭の食品廃棄物のコンポストによる堆肥化をはじめとした食品リサイクルの促進など、誰もがリサイクルしやすい環境づくりを進める。
- リユース・リサイクルが促進されるよう、既に行っている衣類の交換会を拡充するほか、既存の拠点回収の周知拡大やおもちゃ等を学校・企業等で身近に回収できる仕組みづくりなど、取組の強化を行う。
- 廃棄されるごみを活用したアート作品やクラフト作品の展示会などを通じて、ごみの減量・利活用に関する情報を発信する。

## 6 参画と協働の推進

- 地域の住民が環境やごみ問題について自ら学び、率先してごみ減量に取り組む。
- 事業者の協力のもと、ごみの減量や資源循環に向けた最新技術の導入や効果的な情報発信など、民間の力の活用を検討する。
- 資源回収の促進に向けたアイデア等の意見公募を行うなど、地域を巻き込みながら取組を進める。

# 環境保全・美化活動の推進

## 1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

「環境保全・美化活動の輪が広がり、ごみが落ちていない清潔できれいなまち」

## 2 踏まえるべき社会変化

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により減少した在勤者や外国人観光客といった来街者が、徐々に回復し再び増加する。
- 持ち帰り飲料のプラスチックごみや、使い捨てマスク、タバコなど、時代や社会情勢とともにポイ捨てされるごみの種類も変化する。
- 大規模な再開発事業によってきれいな公共空間が整備され、開発事業者がその保全を担う区域が増えていく。
- IoTやAIといったデジタル技術を活用した環境美化活動が普及していく。

## 3 実現に向けた課題

- ごみ拾いといった活動に参加したくても、既存のコミュニティへの敷居が高いイメージから、新たに活動に参加する人が少ない。
- 区民や来街者等について、公共空間の美化に対するモラルが低下している。
- 国によって、ポイ捨てや喫煙に関するルールやモラルが大きく異なっており、外国人の来街者に港区の環境美化ルールが浸透しにくい。

## 4 施策の方向性

- ごみ拾いなどの環境保全・美化活動の門戸を広げ、誰もが活動に参加しやすくなる仕掛けを作る。
- 来街者や外国人などにも港区の環境保全・美化に関するルールを守ってもらえるよう、効果的な周知啓発を行う。



## 5 具体的な取組

### ○誰もが気軽に環境保全・美化活動に参加できる仕組みの構築

- 専用のごみ袋の配布や収集したごみを回収する仕組みの整備など、自主的な活動を促進するための取組を行う。
- より多くの区民、企業等が活動に参加しやすいよう、活動の参加者へのインセンティブの付与や、スポーツチームやインフルエンサーとコラボしたイベントの開催など、ごみ拾いを楽しみながら行うことができる取組を行う。

### □環境保全・美化に関する効果的な周知の実施

- ごみ拾いアプリやAI機能付きのトング等のデジタル技術を用いて、収集したごみの量や種類等を可視化するとともに、そのデータを周知啓発といった情報発信に活用する。
- みなとタバコルール等の環境保全・美化に関する区のルールについて、ピクトグラムを用いるなどして、来街者や外国人も含めて誰にでもわかりやすいパンフレット等の周知媒体を作成する。
- シェアサイクルの自転車などに環境保全・美化に関する区のルールを掲示するなど、プラスαのできる取組を増やす。

## 6 参画と協働の推進

- 区民や在勤・在学者をはじめとした来街者など、多様な人が、区主催に限らず様々な環境保全・美化活動に自主的に参加する。
- 企業等と連携した周知啓発を行う。

# 緑や水辺の保全・創出

## 1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

「すべての人々にとって、もっと水辺と緑に近くなるまち」

## 2 踏まえるべき社会変化

- 区の緑被率は、再開発事業等に伴い上昇の傾向にある。
- 地球温暖化による植物への影響や世界的な森林破壊などが進行している。
- 近年、ゲリラ豪雨や大型台風など、大きな被害をもたらす風水害が多発している。

## 3 実現に向けた課題

- 区内を流れる川が認知されていないことはもとより、潤っていない・汚れている印象があり、水辺に対する親しみが薄れている。
- 緑が整備されている場所とされていない場所で差が大きいほか、駐車場や児童遊園などで緑が少なく感じられるなど、緑被率にかかわらず視覚的に緑を感じられない地域が存在する。

## 4 施策の方向性

- 歴史を知る・学ぶ機会や、水質などの情報発信、水辺でのイベント開催などを通じて、水辺に親しむ機会を増やす。
- 区内の様々な場所に緑を感じられるよう、緑被率の向上はもとより、視覚的なまちなかの緑化を推進する。



## 5 具体的な取組

### ○水辺に親しみを持ってもらうための取組の充実

- 子どもたちへの教育をはじめ、多様な人々に向けた歴史や水質に関する学習機会の創出、身近に行える水質浄化の取組の周知、水辺におけるイベントの実施などを通じて、古川をはじめとした水辺に対して親しみや愛着を持ってもらい、「良くしたい」という意識の高まりにつなげる。

### □まちなかの緑の充実

- 再開発を契機とした質の高い緑の創出に取り組むとともに、地域における区民や事業者等による緑のさらなる創出・保全を支援する。

## 6 参画と協働の推進

- ワークショップやイベントを学校や企業と実施するなど、地域ぐるみでの活動として進める。
- 地域の住民が主体的に水辺や緑化について啓発できる仕組みを構築する。
- 他自治体と連携し、区のみならず広域で取組を進める。

第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境・リサイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニティ分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】

# 開催経過

回数	開催日時	内容
第1回	令和4年9月30日(金) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none"><li>事務局紹介</li><li>グループ会議の進め方について</li><li>分野における現状と課題について</li><li>検討テーマの選定</li><li>リーダー、サブリーダーの選出</li></ul>
第2回	令和4年10月21日(金) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none"><li>第1回グループ会議の振り返り</li><li>検討テーマ「ごみ減量・資源循環」に関する議論 将来像（めざすまちの姿）と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討</li></ul>
第3回	令和4年11月8日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none"><li>第2回グループ会議の振り返り</li><li>検討テーマ「環境保全・美化活動の推進」に関する議論 将来像（めざすまちの姿）と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討</li></ul>
第4回	令和4年11月18日(金) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none"><li>第3回グループ会議の振り返り</li><li>検討テーマ「緑や水辺の保全・創出」に関する議論 将来像（めざすまちの姿）と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討</li></ul>
第5回	令和4年12月2日(金) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none"><li>第4回グループ会議の振り返り</li><li>第2～4回グループ会議の内容確認</li><li>各テーマの点検・テーマ間の比較</li><li>テーマ「ごみ減量・資源循環」の提言内容の調整</li></ul>
第6回	令和4年12月16日(金) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none"><li>第5回グループ会議の振り返り</li><li>テーマ「環境保全・美化活動の推進」及びテーマ「緑や水辺の保全・創出」の提言内容の調整</li></ul>
第7回	令和5年1月10日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none"><li>第6回グループ会議の振り返り</li><li>提言書案の調整</li></ul>
第8回	令和5年1月20日(金) 18時30分～20時	<ul style="list-style-type: none"><li>第7回グループ会議の振り返り</li><li>提言書案の調整</li><li>提言式について</li></ul>